

2D⇔3D切り替えで現地把握しやすい林内ガイドシステム「木ナビ®」



概要

- 森林内は森林3D地図作成システム「Digital Forest®」で情報化され、様々な施業を行うことが可能となった。一方、例えば間伐木を机上で決めてもその場所に行けるのか？との要望に応えるため、「木ナビ」を開発。
- 林班データや境界ポイントデータをタブレットやスマホにインストールした木ナビで表示し林内に持ち込み、境界を確認。
- RTK-GNSSシステムを利用し、森林内でもサブメーター級の精度を実現。
- Digital Forestにより作成された地形及び樹木データのVR表示は2015年に完成。
- 現在境界線表示機能を開発中。

導入効果

- 立木と境界との位置関係を把握。
- RTK-GNSSシステムにより森林内での境界位置を容易に特定。
- 画面のスクリーンショット取得により、施業時の誤伐等を防止。

○ 対象品目

水稲	畑作	露地野菜	施設園芸	果樹	
茶	花き		林業		
酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物	
沿岸漁業	養殖業	沖・遠洋漁業	その他水産業		その他

○ 開発等の段階

開発/実証中	○
モニター販売中	
一般販売中	
その他	

☎ 連絡先

(株)woodinfo セールsteam
 TEL:070-4327-0284
<http://www.woodinfo.jp/>
info@woodinfo.jp

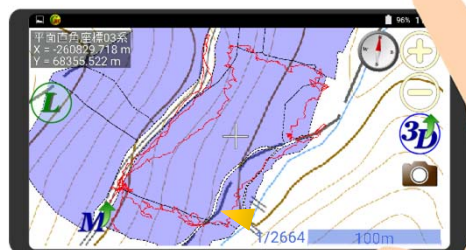
お問い合わせ
 フォーム



情報記載日：2020年10月30日

あらかじめ作成した3D立木マップより位置を割り出した境界線を表示。
 同時に分析済みの境界木をVRモードにて3D表示できます。

VRモード



「木ナビ」システムで
 林内歩行をガイド

2Dモード



境界位置の表示や、Digital Forestの情報を2DとVRの切り替え表示